



多摩区結核通信



〇最近の多摩区の結核患者の動向〇

・ 昨年の多摩区については高齢者の届出が多く、感染力のある状態（喀痰塗抹陽性）で発見された方が複数おられました。体調不良による救急搬送や他疾患の治療時に発見されています。呼吸器症状が長引く際は結核の検査（胸部 X 線検査、喀痰検査等）をお願いします。

・ 若年層は職場健診での発見が多い傾向です。毎年の事業所健診の徹底や、要観察・要精検の受診勧奨、結果把握に努めましょう。

多摩区の新規登録患者

21 人 (R5)

(うち潜在性結核感染症 6 人)

川崎市の新規登録患者

210 人 (R5)

(うち潜在性結核感染症 78 人)

全国の新規登録患者

15,382 人 (R5)

こんな症状があったら…

「風邪のような症状が長引いている」

「咳・痰が何か月も治りきらない」は要注意

咳、痰、微熱、食欲不振、体重減少、寝汗、
は肺結核も疑ってください！

特徴的な症状が出にくく、他の病気の受診で
発見されることも多いです。



免疫が低下する治療に注意！

ステロイドや生物学的製剤による治療で、結核を発症するケースがあります。検査結果を待つ間に悪化し、排菌する例もありました。

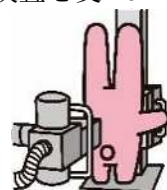
結核の感染が無いかなどの血液検査や、こまめな胸部 X 線検査、必要時には喀痰検査を実施し、早期発見・早期治療に御協力をお願いします。

毎年の胸部 X 線検査がとても大切です！健診を受けましょう！

〇結核健診（胸部レントゲン検査）について…年度に 1 度は「結核健康診断月報」による報告を！

結核は 2 類感染症です。法律では「事業者（医療機関開設者、学校の長、施設の長）は従事者に対して毎年度、学校の長は学生又は生徒に対し入学した年度、施設の長は入所している者に対し 65 歳に達する日の属する年度以降毎年度、結核に係る健康診断（胸部 X 線検査）を実施し（法第 53 条の 2）、保健所長を経由して市長に報告しなければならない（法第 53 条の 7）」とされております。その年度で胸部 X 線検査を受けた人を確認し、報告してください。

患者発見の遅れ、ひいては事業所での集団感染を防ぐためにも、対象者が胸部 X 線検査を受けているか把握しましょう！インターネットでの電子申請が可能です。通知をご確認ください。



パート・アルバイト職員も対象です。
他で受けた場合もカウントできます。



多摩区役所地域みまもり支援センター
（福祉事務所・保健所支所）

衛生課 感染症対策係

TEL：044-935-3272